
痴呆患者にみられる睡眠障害

～特に幻視との関係～

REM sleep behavior disorder,
a sleep disorder after seen in patients with dementia

秋田大学医学部神経運動器学講座 精神科学分野

清水 徹男*

はじめに

痴呆患者にはしばしば幻視がみとめられる。夢と幻覚、とりわけ幻視との類似性については古来より繰り返し記載されているところである。そこで、幻覚と密接な関連を持つREM睡眠行動障害(REM sleep behavior disorder: RBD)に焦点を当てて解説を加える。

1. REM睡眠行動障害とは

REM睡眠行動障害(REM sleep behavior disorder: RBD)とは、REM睡眠に伴う筋トーン抑制機序が障害された結果、夢中での行動が実際に表出されてしまう(dream enactment)と言う病態である。RBDの患者の夜間睡眠には骨格筋緊張の抑制を欠く異常なREM睡眠が出現し、その時期に一致して、鮮明で活発な夢体験の内容が外部に表出されているものと判断される寝言、叫び、哄笑、寝具や寝間着をまさぐるなどの夢幻様行動、時にはベッドから跳び出す様な激しい異常行動がしばしば観察される。このような時期に患者の名前を呼んで覚醒させると、異常行動は直ちに中断し、起こされる直前の内的体験としての夢の内容を詳細に語るができる場合が多い。また、その内容が覚醒させる直前に患者が呈した異常行動とよく符合することから、異常なREM睡眠の時期にみられる異常な言動は夢の行動面への表出であると判断される。

2. REM睡眠行動障害とせん妄

RBDの異常行動は患者を目覚めさせると直ちに中断し、患者はすぐに意識清明となって見当識も保たれる。従って、典型例の場合にはRBDをせん妄と区別することは容易である。しかし、両者の間には移行があり、また、その発現機序に共通点が診られる場合がある。まず第一に、痴呆患者ではRBDの異常行動がそのまま、覚醒後も引き続いてしまい、夜間せん妄へと移行する 경우가少なくない。第二に、アルコール離脱時には活発な幻視を特徴とする振戦せん妄が生じる。我々はこの振戦せん妄の発現機序にもREM睡眠の異常とRBDが関与することを報告している。第三に、せん妄のモデルである抗コリン精神病(お吐露ピン精神病)の発現にもRBDの機序が関与している。抗コリン剤の投与により脳波は浅い眠りであり、筋トーンは保たれているにもかかわらず急速眼球運動(rapid eye movements: REMs)が現れるという異常な睡眠状態(stage 1-REM with tonic EMG: stage 1-REM)が出現する。我々はこのstage 1-REMが筋トーンの抑制を欠く異常なREM睡眠(これはまさしくRBDのポリグラフと同じで特徴ある)であることを証明した。従って、抗コリン剤によるせん妄とRBDの間にも共通した機序があることが示唆される。

以上より、せん妄の一部にはREM睡眠の異常やRBDの機序が関与しているものと考えられる。

* Tetsuo Shimizu, M.D., Ph.D.: Professor, Department of Neuropsychiatry, Akita University School of Medicine

3. REM 睡眠行動障害とシヌクレイノパチー

近年、脳神経細胞内にsynucleinが蓄積することを特徴とする Synucleinopathy（パーキンソン病、レビー小体病、多系統変性疾患など）という概念が登場した。Synucleinopathyの患者には極めて高い頻度でRBDがみられること、RBDが幻視を特徴とするレビー小体を伴う痴呆（DLB）の発症に数年以上も先行すること、幻視がある患者ではRBDが高率に見られること、stage 1-REMからの覚醒に引き続いて幻視を呈する患者があることなど、RBDとSynucleinopathyおよび幻覚の間に密接な関係があることが報告されている。以上の報告も、夢と幻覚の間に密接な関連があることを指示するものである。

おわりに

夢と幻覚の関係について、ようやく生理学の言葉でも語られるようになってきたと言ってよいだろう。RBDとSynucleinopathyについての研究が進むことを通じてREM睡眠の機序の解明、せん妄の治療法の開発、Synucleinopathyの早期発見と早期治療の可能性などが解明されることを望む。

参考文献

Boeve BF, Silber MH, Parisi JE, et al.

Synucleinopathy pathology and REM sleep behavior disorder plus dementia or parkinsonism. *Neurology*. 61:40-5, 2003.

清水徹男 REM睡眠解離状態とせん妄の病態生理. *精神医学レビュー*. 26: 32-40, 1988.

この論文は、平成15年11月15日(土) 第15回東北老年期痴呆研究会で発表された内容です。